

河北新報

号外

発行所

仙台市青葉区五橋1-2-28

河北新報社

河北新報
オンラインニュース



ご購読のお申し込みは
フリーダイヤル

0120-09-3746

仙台育英 全国制覇

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
下関国際	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
仙台育英	0	0	0	1	2	0	5	0	×	8

高校野球 東北勢初



決勝戦で優勝を決め、マウンドに集まって喜ぶ仙台育英ナイン。22日午後4時25分

甲子園球場で開かれていた第104回全国高校野球選手権大会は22日、決勝が行われ、仙台育英が8-1で下関国際(山口)に大勝し、東北のチームとして春夏通じて初めての優勝を飾った。東北勢の悲願だった優勝旗の「白河の関越え」を実現させた。

仙台育英は四回無死から山田が左翼線二塁打、送りバントで三進させると、斎藤陽の右前打で先制した。

五回は2死三塁から橋本の中前打で2点目。さらに二進した橋本を、山田の中前に落ちる安打でかえした。

試合を決定づけたのは七回。打者10人の猛攻で5点を奪った。橋本の右中間三塁打で4点目を奪うと、岩崎が左翼スタンドに満塁本塁打をたたき込んだ。

先発の左腕、斎藤睿は7回を投げて被安打3、1失点の好投を見せた。

仙台育英はこれまで大越基投手を擁した1989年夏、2001年春、15年夏の3回、決勝に進出。4度目にして全国制覇を成し遂げた。